



和歌山県立医科大学 附属病院

全国の大学病院の中で毎年高いマッチ率となっている和歌山県立医科大学附属病院。他大学出身で、Uターンでもない研修医も多い。和医大の初期研修にはどんな魅力があるのか、初期研修医の声を聞いてみよう。



大島智子先生
(1年目研修医/熊本大卒)

病院見学で運命の出会い！

4年のとき初めて見学した手術が、和医大の椎弓切除術だったんです。それを見てあまりにも感動してしまって、それからずっと整形外科志望です。関西で整形外科を中心に研修できる病院を10カ所くらい見学しましたが、やりたいことを含めて研修全体も考えたら和医大が一番かったです。和歌山研修ネットワークに入っている病院も、和医大の研修内で回ることを前提に見学しました。同期も、他大学出身の研修医も多いので、ローテーション先の情報交換や、休みの日には県内の案内もしてもらっています。

忙しくも充実した研修

いま研修中の呼吸器外科は、身体で覚えていくスタイルなので、入職して1カ月余りですが、最初から最後までオペを助手としてやり通す経験を何度もしました。研修医の人数が多いと手技ができない!? みたいな話もありますが、実際そんなことはありません。めちゃくちゃ怒られもしますが、熱い激励を受けて色々な実践をさせてもらえるので、充実しすぎだと感じるほどです。それと、和医大の研修医室には研修医しか居らずリラックスできます。週2回お昼の勉強会があって、色んな設備も揃っていてONもOFFもとても快適に過ごしています。



井口豪人先生
(1年目研修医/和歌山県立医大卒)

研修中に志望が変わっても対応できるプログラム

大学卒業後は地元の和歌山か大阪圏で研修をしようと思って病院を探し、最終的に3年目以降に働く場所とプログラムの内容で和医大に決めました。元々は内科志望でしたが、研修中にマイナー外科に変更しました。ローテーションする科や病院は3カ月前まで変えられるので、私のように志望科の変更があっても大丈夫です。研修前は志望が変わると思っていなかったのですが、そういう意味でも和医大を選んでよかったです。4月は奄美大島の療養型病院で1カ月研修しました。県外の病院を選べるのも魅力ですね。



岸野祥子先生
(2年目研修医/福井大卒)

こだわり抜かれた研修システム



上野雅巳先生
卒後臨床研修センター参与

これからの社会で医師には、generalistとしての総合力とspecialistとしての専門性が求められます。そういった医師を養成できるのが、和医大の初期研修システムです。県内外のさまざまな医療施設とタッグを組んでいるので、大学病院の中ではできない経験もできます。刻々と変化する社会情勢にも柔軟に対応できる、視野の広い研修医が育っています。



園木孝志先生
卒後臨床研修センター長

和医大のプログラムで育った研修医が教える側になり、新たな研修医を育てている、そういう好循環がマッチ率や研修満足度の高さに繋がっているのだと思っています。もちろん現状に甘んじることなく、プログラムのアップデートを続けていきます。多くの研修医の支持を集めると共に優秀な医師を輩出する大学であり続けたいですね。

130人の医局！

初期研修医は全員同じ部屋で2年間を過ごす。他大学出身者が溶け込みやすい秘訣はここにあるのかも!? 昼休みのミニレクチャーや、定期開催の勉強会だけでなく、ローテーションの情報共有や研修医同士の交流が毎日盛んに行われる。



たすきがけを超えた ALL FREE な研修！

県内の大学病院・市中病院を自由に回れる！
県外の病院での研修も可能！



見学・問い合わせ

和歌山県立医科大学附属病院 〒641-8510 和歌山県和歌山市紀三井寺811-1

● TEL : 073- 441- 0575 ● FAX : 073- 441- 0576 ● e-mail : sotugo@wakayama-med.ac.jp

● HP <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo/index.html>